

## 第25回 放送番組審議会 議事録

- 開催日：2012年3月30日（金）10:00～13:00
  - 場 所：ジェイコム札幌 会議室
  - 出席者：番組審議会委員8名中5名出席（3名欠席）
    - ①山本 強（会長）北海道大学 大学院 教授
    - ②星野尚夫（委員）札幌観光協会 会長
    - ③讃良美規（委員）㈱ラ・ウィル 代表取締役
    - ④澁谷 猛（委員）㈱常口アトム 顧問
    - ⑤富樫豊子（委員）(有)北海道人材バンク 代表取締役
- J:COM 札幌 代表取締役社長 岡田 茂  
札幌メディアセンター長 坂本 貢  
管理部（事務局） 雨尾 俊英

### 記

#### 1. 開会の辞（山本会長）

昨年3月11日から一年が経ち、まだ復興したという状況には至っていないが、一時期に比べると大分落ち着き始めていると思われる。各自の身近な話題も含めて、皆さんと一緒に大いに議論していきたい。

#### 2. 出席者自己紹介（各委員）

#### 3. 当社社長挨拶（岡田社長）

日頃のご愛顧に感謝し放送番組への忌憚のないご意見を頂戴したい旨を伝えた。

続いて、近況の報告

- ①J:COM札幌の対象世帯・加入世帯数、及び前年度/今年度のコミc hのトピックス
- ②J:COMグループ全体の加入世帯数の推移
- ③雪まつり報告、特別番組制作、マガジン店頭販売の紹介
- ④2012年9月からのサービスエリア拡大について
- ⑤新キャラクターZ A Qの全国展開について

#### 4. 当社の番組編成について（坂本センター長）

- (1) 2012年4月2日から「第二コミc h HD(10ch)」がスタート。これによりコミc hは“2チャンネル体制”となり、現行「第一コミc h(11ch)」も本年10月からHD化の予定。
- (2) プロ野球12球団放送決定。過去の“トップ&リレー”から、チャンネル毎の徹底放送に変化、アメリカMLBは年間400試合以上を放送。
- (3) VOD配信タイトルは約32,000本まで増加、最新作「はやぶさ」等の一般DVD販売と同時配信するコンテンツも増加。

(4) 全国統一生放送番組

第一コミ c h(11ch)「つながるセブン!(月～金、19:00～)」をリニューアルし、4月から「つながるGO!GO!(月～金、11:55～)」として、新「第二コミ c h」でスタート

※5月より、東京スカイツリー内5F「J:COMワンダースタジオ」から生放送予定。

(5) 自社制作番組 (コミ c h 視聴可能世帯数 380,000世帯)

①Hometownさっぽろ (25分番組)

4月から、現行の北海道警察・札幌市消防局に加えて、北海道広報課・札幌市広報課からの新コーナー「広報だより」をスタート

②ファッションストリート (30分番組)

若い世代に支持され放送20年継続の長寿番組、5月からリニューアルし今以上の市民参加型番組として刷新

③月曜サポスタ (30分番組)

J1コンサドーレ札幌のサポーターによる“手作り番組”

④さっぽろ見聞録 (15分番組)

札幌のミニ紀行番組だが、今後J:COMグループ全国で放送予定

⑤四季食彩 (10分番組)

視聴者インターネットアンケートでは、コミ c hの中でも最も人気のある番組

⑥札幌の美食店 (5分番組)

2012年1月スタートの新番組で、月間雑誌とのコラボ企画により実現した番組

★特別番組「一人でなりとも～北の龍馬烈伝」(45分番組)

★特別番組「ファイターズストレッチ」(5分番組×9パターン)

※お知らせとして、本日の議事内容は、後日、議事録としてHPで公開する事と、コミ c h「Hometownさっぽろ」内にて放送予定である事を伝えた。

## 5. 質疑応答・番組に対する意見交換

<委員長> 最近、TVCMで目にするJ:COMキャラクター「Z A Q」は視聴者の心をつかんでおりセンスも良いと思う。

<委員> 幅広い年代にも好感が持たれて、受け入れやすいキャラクターである。

<J:COM> グループの関西地区では以前から使用していたキャラクターであったが、2011年秋から同キャラクターの全国展開を始めた。

<委員> 特別番組「一人でなりとも～北の龍馬烈伝」は未だ視聴していなかったが、どのような番組ですか？

<J:COM> 道新発行の書籍をきっかけに、今までほとんど知られていなかった坂本龍馬と北海道の縁について紹介するドキュメンタリー番組で、近日再放送をする予定です。更に、現在DVD販売の準備も進めています。

<委員長> HBCの知人からの紹介で視聴したがクオリティーが非常に高くすばらしい出来栄で、謂わばNHK制作のような仕上がりである。ローカルケーブル局の自主制作番組としては賞賛に値する。

- <J:COM> ありがとうございます。正味45分ほどの番組で、道内から京都・高知までのロケを行うなど、当社としては過去最大の自身作です。また、これを30分番組に再編集し、今年6月に開催されるCATV番組コンクールにも応募する予定
- <委員> マガジン販売の今後の展望は？
- <J:COM> 表紙著作権やコンビニ販売、地上波掲載など様々な課題もあるが、販売で利益を上げることが目的ではなく、あくまでもJ:COMのプレゼンス向上が目的。今後、同施策は全国のJ:COMグループで検討していく。
- <委員> テレビの威力は計り知れないものがある。例えば、NHK「ゲゲゲの女房」に縁のある町が観光地として人気のスポットとなり、それが引き金となって町全体が元気になったという話を聞いている。
- <委員> 道内の例でも、モンキーパンチの出身地が、最近「ルパン三世」で盛り上がり始めている。札幌においても、関東都市圏で活躍されている方々には地元を見据えた活動をして欲しい。
- <委員> テレビや映画のロケ地となった町が元気になる例は多々あり、前述の龍馬伝のような地元紹介番組がきっかけとなって、地域の活性化に繋がればうれしい。
- <委員長> テレビの力が大きいことは言うまでもないが、昨今はYouTubeやUSTREAMを使った動画配信や生放送の破壊力は計り知れず、非常に注目すべきメディアである。テレビに代わってインターネット上から大ブレイクする例も多くなってきた。
- <委員> Facebookをきっかけに社会現象も起きており、何がきっかけでどちらに進んでいくのか、予想するのが難しい時代となった。
- <J:COM> 当社でも2011年の札幌マラソンの際にUSTREAM生中継を実施した。結果、テレビとは異なり「生放送当時の視聴は少なく、数日後から視聴数が増えそれが暫く続く」という傾向が見えた。実際に参加した方が後日確認をしてその口コミから暫く続くのではと見ている。また直近では、3月22日に公式「J:COM Facebookページ」がオープンしました。
- <委員長> 例えば、龍馬のDVD販売の際にも通常のツテを使った準備だけではなく、予めYouTubeでダイジェスト版を放送するなど、新たな施策を講じる必要があるかもしれない。
- <委員長> その他、ご意見やご要望は？
- <委員> EPGの番組詳細について、「邦画」では比較的製作年や監督名、出演者名などが表示されているが「洋画」では表示されるケースが少ないので改善して欲しい。
- <委員> 検索機能として、ジャンル検索だけでは物足りず使いづらいので、キーワードや人名検索の機能を使えるようにして欲しい。
- <委員> 韓流コンテンツに偏り過ぎているように思える。韓国の歴史に基づいた番組は視聴するが、日本ドラマのリメイク版などはほとんど視聴しない。
- <委員> 洋画、邦画、アニメ、スポーツ、動物番組はよく見る。一方、食関連の番組をもう少し増やして欲しい。
- <委員> MONDO TVは、特色がハッキリしており、よく視聴する。視聴する層は限られるかもしれないが、これぞCSチャンネルで人気がある。

<委員長> 地上波は、ひとつのチャンネルで全ジャンルをカバーしているため、良くも悪くも全体的に評価されるが、一方、CSやコミc hは、まだまだ視聴者が特定されている感があり、その評価も様々である。

<委員> 最近の地上波は、視聴率が取れるのかお笑いバラエティの割合が多過ぎて殆ど見ない。

<J:COM> 貴重なご意見をいただき有難うございました。本日いただいたご意見を今後の番組制作に生かし、チャンネル編成に関しては所管部門に伝え検討させていただき、具体化できるものから進めて参ります。

## 6. 昼食

特別番組「一人でなりとも～北の龍馬烈伝」（ダイジェスト版30分番組）と、「ファイターズストレッチ」（5分番組）を視聴しながら昼食。

## 7. 閉会

最後に、メディアセンター放送施設を見学し、解散。

以上